

この度はお買上げ頂きありがとうございます。「国産畳表敷き込み後のお手入れ」をまとめました。お読み頂き、健康的なお部屋の空間づくりにお役立て頂ければ幸いです。

1、カビ対策は「3要素のうち1つでも排除」がポイント

畳表は有機質の草を使用していますから条件が整えば、どうしてもカビが生えます。それは生鮮食品を空气中に放置したままにしておくと、すぐにカビが生えてくる事と原理的に変わりありません。

また畳表は水分を吸収しやすいので、室内が湿気過多になり、不健康な状態になるとカビが生えてきます。カビは3要素（栄養・湿度・温度）で発生します。この要素のうち1つでも排除出来ればカビの抑制につながります。特に1年目の青味のあるうちは、い草に栄養が多い状態ですので、梅雨の時期から気温の上がる夏にかけて、次の事を心がけると効果的です。

- ・ エアコンで温度や湿度を下げる
- ・ 1日に1回は部屋の換気を心がける（湿気が淀まないようにする）
- ・ 部屋の掃除を心がける（カビ菌の栄養となるものを排除）
- ・ 洗濯物の部屋干しは除湿機と併用するなど（湿度を下げる）



2、カビが生えてしまったら

- ・ 部屋の換気をして、カビている箇所を乾燥させます。エアコンのドライ運転は効果的です。
- ・ 畳の目に沿って掃除機で吸い取るか、乾いた雑巾でカビを拭き取ります。エタノールなどの消毒剤も効果的です。
- ・ その後は上記のカビの対策を心がけてください。

3、水をこぼした時

い草は植物です。水などこぼしたらただちに拭き取ってください。特に新しい畳表は部分的な変色の原因になります。

4、折り目について

新しい畳表には、時に折り目が目に付くことがあります。地厚な良質品ほど出がちです。この折り目は使っている間に自然に消えます。

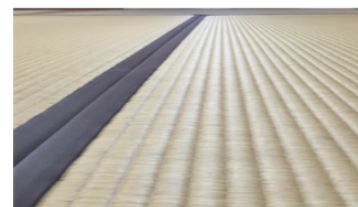
5、退色と品質の関係

敷き込んだ当初はい草の葉緑素で青味がありますが、半年から1年もすると鉛色に変わります。「青味がなくなる事（葉緑素が分解する事）＝品質の劣化」と思われがちですが、退色と畳表の品質はほとんど関係がなく、実入りの良い新芽中心のい草で織った製品は葉緑素が分解しても、草の繊維は長く良い状態で保たれます。

ただ品質に応じて一定期間を過ぎますと品質の劣化が始まり、皮向けなどが取替の目安です。

工業製品などは使うほど品質が劣化してきますが、天然い草は使うほどにツヤがでて鉛色に変わっていき、この変化を楽しむ事ができます。

お手入れをして快適な空間をお楽しみください。



(年数が経過しても艶のある熊本産最高級品)

肥後物産株式会社

畳のご注文・ご相談は当店へ

次回の畳替えは 年頃が目安です